



平成 24 年 2 月 15 日

各 位

会 社 名 サイオステクノロジー株式会社
代表者名 代表取締役社長 喜多 伸夫
(コード番号 3744 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員(財務経理、経営企画担当) 小林 徳太郎
電 話 0 3 - 6 8 6 0 - 5 1 0 5

資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成 24 年 3 月 22 日開催予定の第 15 回定時株主総会に「資本準備金の額の減少」並びに「剰余金の処分」に関する議案を付議することを決議しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分の目的

当社は、高い市場成長が継続しているクラウドコンピューティングや、従来からの強みであるオープンソースソフトウェアに関連する領域での既存ビジネスの拡大に努めるとともに、新たな収益の柱を確立するべく、新規事業の創出にも積極的に取り組んでいます。しかしながら、平成 23 年 12 月期において当期純損失を計上し、繰越利益剰余金の欠損額 389,196,987 円を計上しています。

今回の資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分は、早期の財務体質健全化を実現し、今後の資本政策の柔軟性及び機動性を確保することを目的としています。

具体的には、会社法 448 条第 1 項に基づく資本準備金の額の減少を行い、これをその他資本剰余金に振り替えます。そのうえで、会社法 452 条に基づく剰余金の処分として、その他資本剰余金を繰越利益剰余金に振り替えることにより、欠損の填補を行います。

2. 資本準備金の額の減少の内容

平成 23 年 12 月 31 日現在の資本準備金 861,305,000 円のうち、500,000,000 円を減少させ、その他資本剰余金に振り替えます。資本準備金の額の減少においては、発行済株式総数の変更は行わず、資本準備金の額のみを減少します。

3. 剰余金の処分の内容

資本準備金の額の減少により生じるその他資本剰余金のうち、389,196,987 円を繰越利益剰余金に振り替え、欠損の填補を行います。

4. 日程

(1)取締役会決議日	平成 24 年 2 月 15 日
(2)債権者異議申述公告日	平成 24 年 2 月 29 日 (予定)
(3)株主総会決議日	平成 24 年 3 月 22 日 (予定)
(4)債権者異議申述最終期日	平成 24 年 3 月 29 日 (予定)
(5)効力発生日	平成 24 年 3 月 31 日 (予定)

5. 今後の見通し

本件は、貸借対照表の純資産の部における勘定科目の振替処理であり、当社の純資産合計に変動が生じるものではなく、単体及び連結の業績に与える影響はありません。

(ご参考)

(単位：円)

	平成 23 年 12 月 31 日時点	資本準備金の 額の減少	剰余金の処分	振替後 (予定)
資本準備金	861,305,000	△500,000,000	—	361,305,000
その他資本剰余金	0	+500,000,000	△389,196,987	110,803,013
繰越利益剰余金	△389,196,987	—	+389,196,987	0

以上